

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは58号館のレポート返却BOXにて返却.

材料の力学1 Step3 第12回演習問題 (2017/7/18 実施)

- [1] 図1(a)に示すような両端に分布荷重がかかるはりのたわみ解析を、その対称性を利用して図1(b)のようなはりのたわみ解析として行うことを考える。OA間に分布荷重 f_0 が作用している。このとき以下の問い合わせに答えよ。ただしはりの曲げ剛性は EI とする。

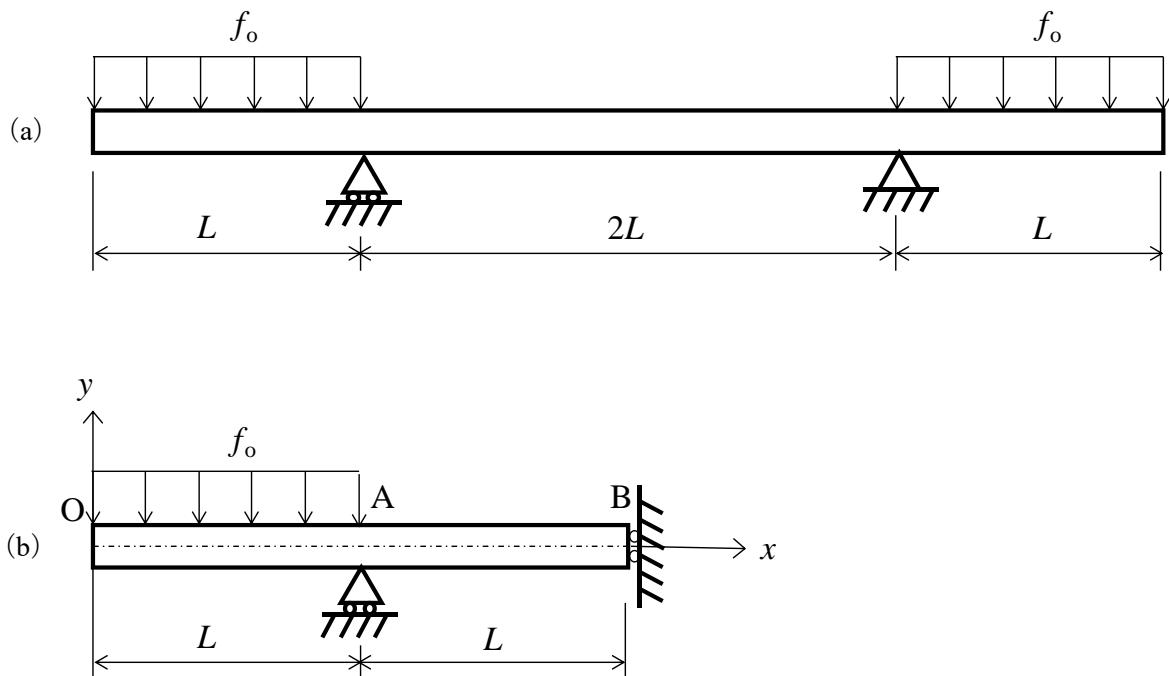


Fig. 1 両端に分布荷重を受けるはり

- (1) 点Aの支点反力を R_A 、点Bの壁からの反モーメントを M_B とし、はり全体のFBDを描け。また、力のつり合い、モーメントのつり合いから R_A と M_B を求めよ。
- (2) $M(x)$ を特異関数表示せよ。
- (3) 点Bのたわみ v_B を求めよ。

次に、図1(b)のはりに関し点Bにy方向の荷重 P を与える、 $v_B=0$ となるようにする。

- (4) 荷重 P 、点Oのたわみ v_O を求めよ。

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは 58 号館のレポート返却 BOX にて返却.

[1]

(1) 点 A の支点反力を R_A 、点 B の壁からの反モーメントを M_B とし、はり全体の FBD を描け。また、力のつり合い、モーメントのつり合いから R_A と M_B を求めよ。

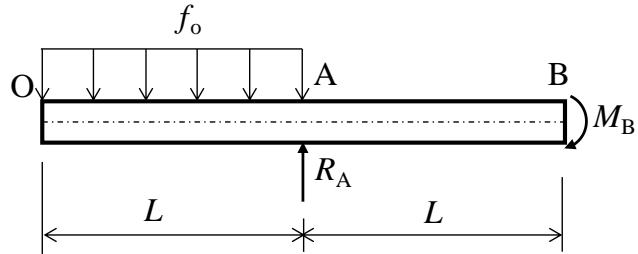


Fig. 1.1 はり全体の FBD

FBD は図 1.1 のようになる。よって力ならびに A 点まわりのモーメントのつり合いより

$$\begin{cases} R_A - f_0 L = 0 \\ \frac{1}{2} f_0 L^2 - M_B = 0 \end{cases} \quad (1.1)$$

$$\therefore R_A = f_0 L, \quad M_B = \frac{1}{2} f_0 L^2 \quad (1.2)$$

(2) $M(x)$ を特異関数表示せよ。

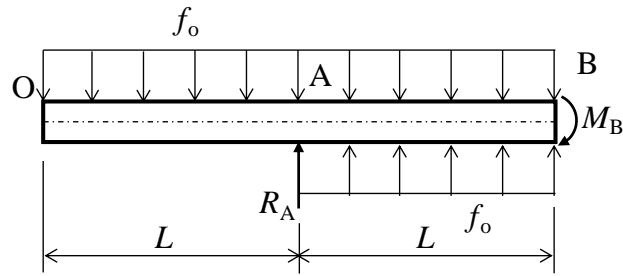


Fig. 1.2 はり全体の FBD

図 1.2 より、 $L \leq x \leq 2L$ でははりに逆向き同じ大きさの分布荷重が作用していると考え、 $M(x)$ を特異関数表示すると以下のようになる。

$$\begin{aligned} M(x) &= \frac{1}{2} f_0 \langle x \rangle^2 - R_A \langle x - L \rangle - \frac{1}{2} f_0 \langle x - L \rangle^2 \\ &= \frac{1}{2} f_0 \langle x \rangle^2 - f_0 L \langle x - L \rangle - \frac{1}{2} f_0 \langle x - L \rangle^2 \end{aligned} \quad (1.3)$$

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは 58 号館のレポート返却 BOX にて返却.

(3) 点 B のたわみ v_B を求めよ.

式(1.3)をたわみの基礎式に代入すると

$$-EIv'' = \frac{1}{2}f_0\langle x \rangle^2 - f_0L\langle x-L \rangle - \frac{1}{2}f_0\langle x-L \rangle^2 \quad (1.4)$$

式(4)の両辺を積分して

$$-EIv' = \frac{1}{6}f_0\langle x \rangle^3 - \frac{f_0L}{2}\langle x-L \rangle^2 - \frac{1}{6}f_0\langle x-L \rangle^3 + C_1 \quad (1.5)$$

$$-EIv = \frac{1}{24}f_0\langle x \rangle^4 - \frac{f_0L}{6}\langle x-L \rangle^3 - \frac{1}{24}f_0\langle x-L \rangle^4 + C_1x + C_2 \quad (1.6)$$

ここで、境界条件 $v(L)=0$, $v'(2L)=0$ より

$$\begin{cases} 0 = \frac{1}{24}f_0L^4 + C_1L + C_2 \\ 0 = \frac{4}{3}f_0L^3 - \frac{1}{2}f_0L^3 - \frac{1}{6}f_0L^3 + C_1 \end{cases} \quad (1.7)$$

$$\therefore C_1 = -\frac{2}{3}f_0L^3, \quad C_2 = \frac{5}{8}f_0L^4 \quad (1.8)$$

よって式(1.6)および式(1.8)より

$$v = -\frac{1}{EI} \left\{ \frac{1}{24}f_0\langle x \rangle^4 - \frac{f_0L}{6}\langle x-L \rangle^3 - \frac{1}{24}f_0\langle x-L \rangle^4 - \frac{2}{3}f_0L^3x + \frac{5}{8}f_0L^4 \right\} \quad (1.9)$$

式(1.9)より、

$$\begin{aligned} v_B &= v|_{x=2L} = -\frac{1}{EI} \left\{ \frac{1}{24}f_0(2L)^4 - \frac{f_0L}{6}(L)^3 - \frac{1}{24}f_0(L)^4 - \frac{2}{3}f_0L^3(2L) + \frac{5}{8}f_0L^4 \right\} \\ &= \frac{f_0L^4}{4EI} \end{aligned} \quad (1.10)$$

(4) 荷重 P, 点 O のたわみ v_O を求めよ.

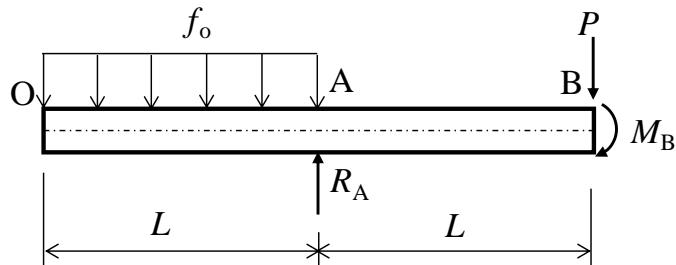


Fig. 1.3 点 B に荷重 P を受けるはり全体の FBD

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは 58 号館のレポート返却 BOX にて返却.

力のつり合いならびに A 点まわりのモーメントのつり合いより

$$\begin{cases} R_A - f_0 L - P = 0 \\ \frac{1}{2} f_0 L^2 - M_B - PL = 0 \end{cases} \quad (1.11)$$

式(1.11)から R_A は一意に定まらないため、 $M(x)$ を特異関数表示すると式(1.3)の中辺のように表せる。これをたわみの基礎式に代入すると

$$-EIv'' = \frac{1}{2} f_0 \langle x \rangle^2 - R_A \langle x - L \rangle - \frac{1}{2} f_0 \langle x - L \rangle^2 \quad (1.12)$$

両辺を積分すると

$$-EIv' = \frac{1}{6} f_0 \langle x \rangle^3 - \frac{R_A}{2} \langle x - L \rangle^2 - \frac{1}{6} f_0 \langle x - L \rangle^3 + C_1 \quad (1.13)$$

$$-EIv = \frac{1}{24} f_0 \langle x \rangle^4 - \frac{R_A}{6} \langle x - L \rangle^3 - \frac{1}{24} f_0 \langle x - L \rangle^4 + C_1 x + C_2 \quad (1.14)$$

ここで、境界条件 $v(L) = 0$, $v(2L) = v'(2L) = 0$ より

$$\begin{cases} 0 = \frac{1}{24} f_0 L^4 + C_1 L + C_2 \\ 0 = \frac{2}{3} f_0 L^4 - \frac{R_A}{6} L^3 - \frac{1}{24} f_0 L^4 + 2C_1 L + C_2 \\ 0 = \frac{4}{3} f_0 L^3 - \frac{R_A}{2} L^2 - \frac{1}{6} f_0 L^3 + C_1 \end{cases} \quad (1.15)$$

$$\therefore R_A = \frac{7}{4} f_0 L, \quad C_1 = -\frac{7}{24} f_0 L^3, \quad C_2 = \frac{1}{4} f_0 L^4 \quad (1.16)$$

よって式(1.11)ならびに式(1.16)より

$$\begin{aligned} P &= R_A - f_0 L \\ &= \frac{3}{4} f_0 L \end{aligned} \quad (1.17)$$

また、式(1.14)ならびに式(1.16)より

$$v = -\frac{1}{EI} \left\{ \frac{1}{24} f_0 \langle x \rangle^4 - \frac{7f_0 L}{24} \langle x - L \rangle^3 - \frac{1}{24} f_0 \langle x - L \rangle^4 - \frac{7}{24} f_0 L^3 x + \frac{1}{4} f_0 L^4 \right\} \quad (1.18)$$

式(1.19)より

$$v_O = v|_{x=0} = -\frac{f_0 L^4}{4EI} \quad (1.19)$$

~別解~

(4) 分布荷重 f_0 によるたわみと荷重 P のたわみの重ね合わせとして考える。点 B に荷重 P が作用した場合、力のつり合いより支点 A には支点反力 P が図 1.4 のように生じる。

※解答の導出過程がないレポートは認めない。
採点済みのレポートは58号館のレポート返却BOXにて返却。

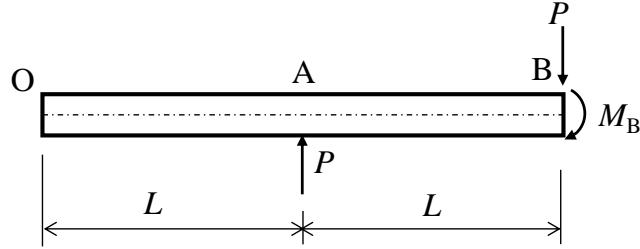


Fig. 1.4 荷重 P のみを受けるはりの FBD

図 1.4において、点 B のたわみ角は 0 なので点 B を固定支点と考えると、点 B を基準とした点 A の相対的なたわみ v_{BA} ならびにたわみ角 v'_{BA} は

$$v_{BA} = \frac{PL^3}{3EI} \quad (1.20)$$

$$v'_{BA} = -\frac{PL^3}{2EI} \quad (1.21)$$

ここで条件より v_{BA} は(3)で導出した v_B に等しいことから、式(1.10)ならびに式(1.20)より

$$\frac{PL^3}{3EI} = \frac{f_0 L^4}{4EI} \quad (1.22)$$

$$\therefore P = \frac{3}{4} f_0 L \quad (1.23)$$

また、荷重 P による点 O のたわみ v_{O1} は、点 A のたわみが 0 であるので、式(1.21)ならびにより式(1.23)より

$$\begin{aligned} v_{O1} &= v'_{BA}(0-L) \\ &= \left(-\frac{L^3}{2EI}\right) \left(\frac{3}{4} f_0 L\right)(-L) \\ &= \frac{3f_0 L^4}{8EI} \end{aligned} \quad (1.24)$$

さらに、分布荷重 f_0 による点 O のたわみ v_{O2} は式(1.9)より

$$\begin{aligned} v_{O2} &= v|_{x=0} = -\frac{1}{EI} \left\{ \frac{1}{24} f_0(0)^4 - \frac{f_0 L}{6}(0)^3 - \frac{1}{24} f_0(0)^4 - \frac{2}{3} f_0 L^3(0) + \frac{5}{8} f_0 L^4 \right\} \\ &= -\frac{5f_0 L^4}{8EI} \end{aligned} \quad (1.25)$$

よって求める v_O は式(1.24)ならびに式(1.25)より

$$\begin{aligned} v_O &= v_{O1} + v_{O2} \\ &= -\frac{f_0 L^4}{4EI} \end{aligned} \quad (1.26)$$

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは58号館のレポート返却BOXにて返却.

- [2] 図2 (a) に示すように A 点において長さ L の剛体棒による偶力が作用し、B 点で単純支持されているはりを考える。なお、はりの曲げ剛性は EI とする。このとき、以下の設問に答えよ。

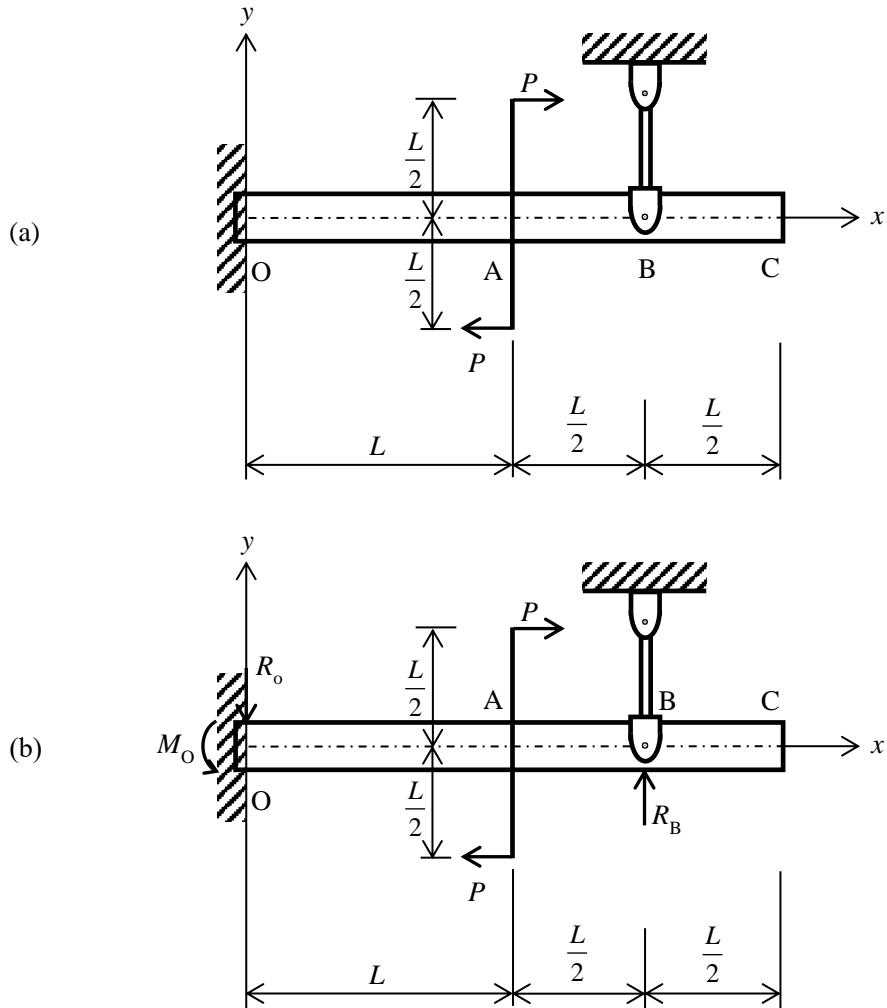


Fig.2 壁と天井に固定されたはり

O 点における反力 R_O と反モーメント M_O 、B 点における反力 R_B を図2 (b) のように考えたい。

- (1) はり全体の FBD を描き、力のつり合い式と O 点まわりのモーメントのつり合い式を求めよ。
- (2) はりの曲げモーメント $M(x)$ を特異関数表示せよ。
- (3) たわみ角およびたわみを求めたうえで (1) の結果と境界条件を考慮し、反力 R_O 、 R_B および反モーメント M_O を求めよ。
- (4) はり全体の BMD を描け。なお、曲げモーメント $M(x)$ には P 、 L のみを用いること。
- (5) C 点に生じるたわみ角 ν'_C とたわみ ν_C を求めよ。

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは58号館のレポート返却BOXにて返却.

- (1) はり全体のFBDを描き、力のつり合い式とO点まわりのモーメントのつり合い式を求めよ。

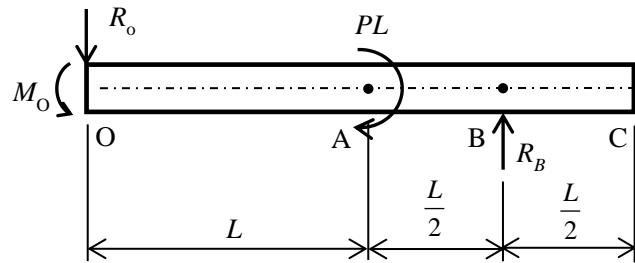


Fig.2.1 はり全体のFBD

図2.1において、力のつり合い式は

$$-R_o + R_B = 0 \quad (2.1)$$

また、O点まわりのモーメントのつり合い式は

$$-M_o + PL - \frac{3}{2}R_B L = 0 \quad (2.2)$$

- (2) はりの曲げモーメント $M(x)$ を特異関数表示せよ。

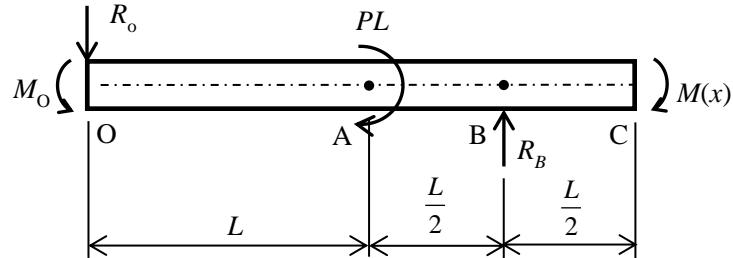


Fig.2.2 ある位置 x におけるはり全体のFBD

図2.2より、はりの曲げモーメント $M(x)$ の特異関数表示は以下のようになる。

$$M(x) = M_o \langle x \rangle^0 + R_o \langle x \rangle^1 - PL \langle x - L \rangle^0 - R_B \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^1 \quad (2.3)$$

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは 58 号館のレポート返却 BOX にて返却.

- (3) たわみ角およびたわみを求めたうえで (1) の結果と境界条件を考慮し, 反力 R_O , R_B および反モーメント M_0 を求めよ.

たわみの基礎式と式(2.3)より, たわみ角とたわみは次のように求められる.

$$\begin{aligned} -EIv''(x) &= M(x) \\ &= M_0 \langle x \rangle^0 + R_0 \langle x \rangle^1 - PL \langle x - L \rangle^0 - R_B \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^1 \end{aligned} \quad (2.4)$$

$$-EIv'(x) = M_0 \langle x \rangle^1 + \frac{R_0}{2} \langle x \rangle^2 - PL \langle x - L \rangle^1 - \frac{R_B}{2} \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^2 + C_1 \langle x \rangle^0 \quad (2.5)$$

$$-EIv(x) = \frac{M_0}{2} \langle x \rangle^2 + \frac{R_0}{6} \langle x \rangle^3 - \frac{PL}{2} \langle x - L \rangle^2 - \frac{R_B}{6} \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^3 + C_1 \langle x \rangle^1 + C_2 \langle x \rangle^0 \quad (2.6)$$

ここで, C_1 , C_2 は積分定数である. 左端が固定端であることから境界条件は $v'(0) = v(0) = 0$ であるので

$$C_1 = C_2 = 0 \quad (2.7)$$

式 (2.7) を式 (2.5), (2.6) に代入し整理すると, はりのたわみ角およびたわみはそれぞれ次のようになる.

$$v'(x) = -\frac{1}{EI} \left[M_0 \langle x \rangle^1 + \frac{R_0}{2} \langle x \rangle^2 - PL \langle x - L \rangle^1 - \frac{R_B}{2} \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^2 \right] \quad (2.8)$$

$$v(x) = -\frac{1}{EI} \left[\frac{M_0}{2} \langle x \rangle^2 + \frac{R_0}{6} \langle x \rangle^3 - \frac{PL}{2} \langle x - L \rangle^2 - \frac{R_B}{6} \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^3 \right] \quad (2.9)$$

また, B 点における境界条件は $v(3L/2) = 0$ より式(2.9)に代入して

$$0 = \frac{M_0}{2} \left(\frac{3}{2}L \right)^2 + \frac{R_0}{6} \left(\frac{3}{2}L \right)^3 - \frac{PL}{2} \left(\frac{L}{2} \right)^2 \quad (2.10)$$

$$18M_0L^2 + 9R_0L^3 - 2PL^3 = 0 \quad (2.11)$$

式(2.11)と式(2.1), (2.2)を解くことで M_0 , R_0 , R_B が求まる.

$$M_0 = -\frac{1}{3}PL, \quad R_0 = R_B = \frac{8}{9}P \quad (2.12)$$

※解答の導出過程がないレポートは認めない.
採点済みのレポートは 58 号館のレポート返却 BOX にて返却.

(4) はり全体の BMD を描け. なお, 曲げモーメント $M(x)$ には P, L のみを用いること.

(3) の結果より, M_0, R_0, R_B の値を式(2.3)に代入すると

$$M(x) = -\frac{PL}{3} \langle x \rangle^0 + \frac{8}{9} P \langle x \rangle^1 - PL \langle x - L \rangle^0 - \frac{8}{9} P \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^1 \quad (2.13)$$

よって x の各範囲において $M(x)$ は次のようになる.

(a) $0 \leq x \leq L$ のとき

$$M(x) = -\frac{PL}{3} + \frac{8}{9} Px \quad (2.14)$$

(b) $L \leq x \leq \frac{3L}{2}$ のとき

$$\begin{aligned} M(x) &= -\frac{PL}{3} + \frac{8}{9} Px - PL \\ &= -\frac{4}{3} PL + \frac{8}{9} Px \end{aligned} \quad (2.15)$$

(c) $\frac{3L}{2} \leq x \leq 2L$ のとき

$$M(x) = -\frac{PL}{3} + \frac{8}{9} Px - PL - \frac{8}{9} Px + \frac{4}{3} PL = 0 \quad (2.16)$$

(a)～(c)の結果より, BMD は図 2.3 のようになる.

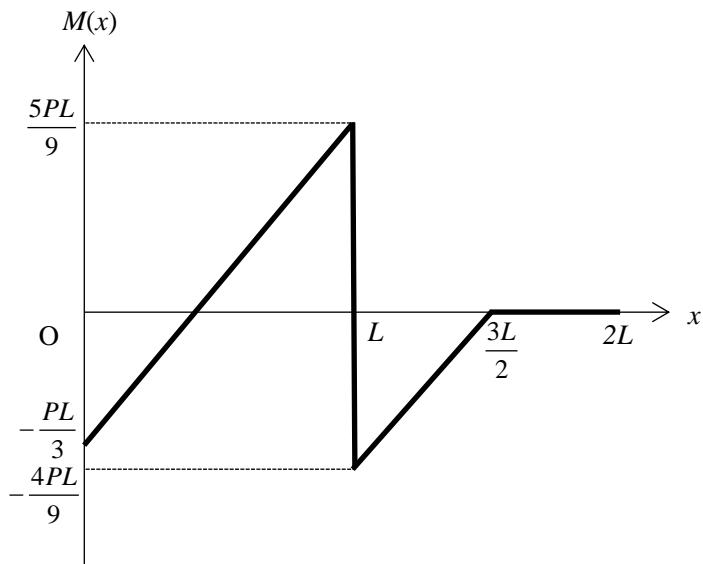


Fig.2.3 はり全体の BMD

※解答の導出過程がないレポートは認めない。
採点済みのレポートは 58 号館のレポート返却 BOX にて返却。

(5) C 点に生じるたわみ角 v'_C とたわみ v_C を求めよ。

(3) の結果より, M_0 , R_0 , R_B の値を式(2.8), (2.9)に代入すると

$$v'(x) = -\frac{1}{EI} \left[-\frac{PL}{3} \langle x \rangle^1 + \frac{4}{9} P \langle x \rangle^2 - PL \langle x-L \rangle^1 - \frac{4}{9} P \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^2 \right] \quad (2.17)$$

$$v(x) = -\frac{1}{EI} \left[-\frac{PL}{6} \langle x \rangle^2 + \frac{4P}{27} \langle x \rangle^3 - \frac{PL}{2} \langle x-L \rangle^2 - \frac{4P}{27} \left\langle x - \frac{3}{2}L \right\rangle^3 \right] \quad (2.18)$$

C 点でのたわみ角およびたわみは $x=2L$ のときであるから, たわみ角は

$$v'(2L) = -\frac{1}{EI} \left[-\frac{PL}{3} (2L) + \frac{4}{9} P (2L)^2 - PL(L) - \frac{4}{9} P \left(\frac{L}{2} \right)^2 \right] = 0 \quad (2.19)$$

同様にしてたわみは

$$v(2L) = -\frac{1}{EI} \left[-\frac{PL}{6} (2L)^2 + \frac{4P}{27} (2L)^3 - \frac{PL}{2} (L)^2 - \frac{4P}{27} \left(\frac{L}{2} \right)^3 \right] = 0 \quad (2.20)$$

以上より

$$v'_C = v_C = 0 \quad (2.21)$$